

平成25年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 修士課程  
入学者選抜試験 第1次試験問題

## 問題

昨年起こったパソコンを使用した遠隔操作ウィルスによるなりすまし事件に象徴される様に、ネットワーク上では別人や架空の人格を複数所有することが可能であり、個人の身元証明の困難さは実社会にまで及ぶ状況が生じている。

別紙参考文献は、橋本一径『指紋論—心霊主義から生体認証まで』からの引用で、写真の発明によって現れた「私」の身元を「証明」する意識に触れた一節である。この文章を読み、匿名での情報発信が容易な現代において、あなたは何者として表現を行なっていくのか、表現者としての「私」と自身の作品との関わりについて、これまでの研究・制作活動に触れながら1000字程度で述べなさい。

※問題の記述にあたっては縦書きで書くこと。

※参考文献は『指紋論—心霊主義から生体認証まで』橋本一径、(2010年 青土社)からの抜粋による。p206～210

※この問題用紙と参考文献は試験終了後に回収します。

You may write in English (about 400 words; use the blank of the sheet; write in clear hand-writing).